夕刊フジ
株－１グランプリ
２０２４年３月５日　掲載

激闘!!株－1（カブワン）グランプリ

毎月5人のプロたちが3銘柄を厳選

日経平均株価が史上最高値を更新し、世界中の投資家たちの間で「日本株を持たざるリスク」が台頭しているという。2月の「株－1グランプリ（GP）」では、2人の株プロが株価2倍高を達成。今日から始まる3月大会からも急騰銘柄が続出しそうだ。　（月曜掲載）

【競技ルール】１人３銘柄を選択。時価総額が100億円以上の銘柄のみ。今月は第１月曜日の始値から計測開始。以降、３月29日までのザラ場を含む高値の３銘柄合計のパフォーマンスを競う。ただし、当初の３銘柄については、１度だけ変更が可能。その際、除外した銘柄のそれまでのパフォーマンスはカウントされない。優勝賞金は３万円。

株プロと読者 賞金３万円 獲得するのは誰だ

チャレンジャー募集

希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、株式投資歴を明記の上、〒100－8160（住所不要）夕刊フジ報道部「株－１GP」係まで。

AI・半導体関連に集中投資

マーケットバンク　岡山憲史氏

おかやま・けんじ　マーケットバンク代表。プロの運用担当者をはじめとする1万人超が参加した日本初の資産運用コンテスト「S1グランプリ」優勝。

米国市場でAI（人工知能）向け半導体大手のエヌビディアが急伸し、米国株式市場を牽引。日本株もAI・半導体関連株に資金が向かっている。

VRAIN Solutionは製造業向けAIシステムとDXコンサルティングのソリューションを提供。高い成長性と収益性で黒字継続、営業利益率が35％と高い。

フォーサイドはAIを活用した新たなコンテンツ、システムを開発する新子会社を設立、AI事業を本格的に開始した。

AIメカテックは半導体実装装置の開発、製造を行う。半導体業界は生成AIやデータセンター向け先端半導体をはじめ、さまざまな半導体の旺盛な需要が見込める。

【岡山憲史氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価（2月29日終値）
VRAIN Solution	135A	6040円
フォーサイド	2330	635円
AIメカテック	6227	5360円

※連続ストップ高のフォーサイドに飛び乗り

株価急騰中のフォーサイド

アセットマネジメントあさくら　長谷川伸一氏

はせがわ・しんいち　経済アナリストの朝倉慶の右腕。セミナー、雑誌への寄稿など幅広く活躍。著書に『投資でお金を増やす人、減らす人』など。

ついにバブル越えを果たした日経平均。大型株からの循環物色が広がっていくことに期待だ。

VRAIN Solutionは製造業界向けAIベンチャー。外観検査などの製造工程を自動化・省力化するプロダクトの開発・販売を手掛ける。業績は拡大基調を強めており、今期売り上げは約2・3倍、営業利益は7・7倍を見込む。

フォーサイドはクレーンゲーム機の販売や家賃保証が主力。業績拡大を受け株価は急上昇中だ。

QPS研究所は話題性の大きい宇宙ベンチャー。小型SAR衛星を開発、製造、運用している。衛星で取得した画像データを販売することで収益を得ている。

【長谷川伸一氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価（2月29日終値）
VRAIN Solution	135A	6040円
フォーサイド	2330	635円
QPS研究所	5595	3160円

※話題性のある銘柄を厳選

今期は黒字転換予想のココナラ

経済アナリスト　古賀真人氏

こが・まさと　国内・外資金融機関経て独立。ライフサポート代表。note、YouTubeで情報を発信している。全力のフルポジの攻撃的スタイル。

VRAIN Solutionは、2月に上場したAI関連銘柄。同社の製造業向けAIソリューションへの期待は大きい。業績面では、売り上げ、利益ともに大幅な成長が見込めそうだ。

アマゾンのクラウド「AWS」の課金代行や導入、運用支援を行っているサーバーワークスは、業績の上方修正で株価は劇的な変化を見せている。米国メガテック株の力強い上昇を背景に一層の上昇に期待。

副業ブームの追い風を受けて成長を続けているのがココナラだ。赤字続きだった業績も今期は黒字転換を予想している。株価的にも底打ちの機運を見せており、今後の株価の伸びに期待したい。

【古賀真人氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価（2月29日終値）
VRAIN Solution	135A	6040円
サーバーワークス	4434	4130円
ココナラ	4176	539円

※VRAIN Solutionは直近IPO

狙いは新NISAで買われる銘柄

マネー編集者　丸山昭利氏

まるやま・あきとし　株式投資歴17年のベテラン投資家。2021年の「株－1GP」では月間優勝でグランチャン大会に進出。趣味は鉄道とカメラ。

新NISA（少額投資非課税制度）がスタートし、これまで株の経験がなかった個人も株式投資に興味を持ちはじめている。まだNISA経由での本格的な資金流入は目立っていないようだが、3月以降は乗り遅れた個人も駆け込んでくるのではないか。NISAで買われる銘柄は、やはり高配当銘柄となろう。

まずは、配当利回りが5％近い日本たばこ産業。株価は横ばい傾向だが、下値不安は少なそうだ。続いて、配当利回り4％超のソフトバンク。1月上昇から一休みしているが、そろそろ動き出しそうな雰囲気。これに配当利回りが5％を超えるグロース市場のユナイテッドを加えて勝負だ。

【丸山昭利氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価（2月29日終値）
日本たばこ産業	2914	3892円
ソフトバンク	9434	1972.5
ユナイテッド	2497	910円

※高配当銘柄を狙い撃ち

動き始めた中小型株を狙う

投資ライター　明石圭氏

あかし・けい　ネット系の金融情報サイトなどに記事を書いている投資ライター。自らも株式投資を行っている。過去には、月間優勝の実績も。

個人投資家好みの中小型株にも資金が流入してきた。大型株に比べ出遅れていただけに、3月相場は中小型株に期待できそうだ。今回は直近で値動きが良い3銘柄をピックアップし値幅を狙う。

QPS研究所は、昨年12月のIPO銘柄。初値は860円だが、2月には4370円まで買われた。現在は調整中だが、このまま終わるような銘柄ではないはずだ。

海帆は仕手株好きの投資家におなじみの銘柄。2月中旬から急騰し高値圏でもみ合い中。このまま青天井相場に突入も。

最後は、昨年来高値を更新中のマネーフォワード。資金流入が続けば、上場来高値の9190円も遠くはなさそうだ。

【明石圭氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価（2月29日終値）
QPS研究所	5595	3160円
海帆	3133	1308円
マネーフォワード	3994	6610円

※QPS研究所のリバウンド期待